

分科会	校種	レポート名
第1テーマ歴史と現代		
第1分科会 地域の掘りおこし		幕張の中性を歩く―千葉氏庶流が住む武石城、大須賀城、馬加城のあった幕張
	高	京都府農牧学校研究と文化遺産化活動―一次史料群の発見及び資料館開設・展示運営
	大	三本木開拓の希望―青森県農学校の開校
	高	鈴木初五郎と家族の日露戦争―日記と手紙を読む
	中	高校生が探究する戦争遺跡―フィールドワークで学ぶ近代日本の戦争
		新村猛の思想形成と30年代の国際認識―戦争に抗する主体の誕生
	小	アメリカにも伝わった人形交流と戦争―答礼人形「ミス三重」里帰り展に取り組んで
		地域への空襲・再論―空からの視点と地上からの視点
		楽しく、動き、調べる「地域・歴史の掘りおこし」を！―手賀沼畔から、「大逆事件」犠牲者・菅野須賀子の京都時代（同志社）を考える
		先覚者・岩崎革也の事績の掘り起こしと顕彰―初期社会主義者を支援した丹波の名望家
	高	地震記念碑を地域の減災に活かす―防災学習会で講演したこと
	『亦楽山荘記録』にみる武庫川水害―サクラに生涯を捧げた笹部新太郎の記録	
第2分科会 日本前近代	小	「変だなあ」探しを生かして飯沼干拓を学ぶ
	高	人類はどこからどうやって日本列島にやってきたのか―旧石器時代に関する討論授業
	高	鎌倉幕府はいつできた？
	高	房総の村々は半手を続けるべきか―戦国時代像を地域から見直す
	中	江戸時代の農民日記を書こう―「主体的・対話的で深い学び」の成立条件を探る
	高専	なぜ日本近世に農業生産力は倍増したのか？―主体的な歴史認識育成の試み
	中・高	外国人の記録から見る日本―史料から前近代日本を読み解く授業
	大	「総合―探究」体制と高校日本史授業の可能性―歴教協の実践的蓄積をいかに活かすか
第3分科会 日本近現代		明治150年を学び、何を継承するか
	高・大	江戸・明治の見直しで近現代の真相を探る―徳川の平和と明治以降の戦争の源流
	中	西郷隆盛の神格化に抗して―明治維新150年を鹿児島から考える
		日本近代化と15年戦争・アジア太平洋戦争への道―明治150年の実態
	高	興味関心を持たせる日本史Aの資料を求めて―諷刺画を使って考えた日本の近代史
	高	永嶋暢子のこと―新婦人協会から治安維持法まで
		学級日誌（絵日記）にみる国民学校期の教育―西川綾子の実践に学ぶ
	中・高	歴史科目で沖縄をどう扱うか―沖縄から「戦後」「日本」を考えるには
	高	歴史教材としての「公害」「環境問題」―新科目「歴史総合」の素材案
	高	家族介護の現代日本社会史―「ヤングケアラー問題」に着目して
第4分科会	高	岩倉使節団から世界史を学ぶ―日本史と世界史の接点を探る

世界	高	ジェンダー視点を取り入れた高校世界史の実践—その結果とこれからの課題
		中国遼寧省の万人坑—「満洲国」と中国人強制労働
	大	与謝野晶子の思想と行動を高麗大生と学ぶ
	高	日中戦争と長谷川テル—日中授業交流の総括
	大	高校新学習指導要領と新科目「歴史総合」—歴史認識と近現代史教育のあり方を問う
第5分科会 憲法と現代の社会	中・高	誰でもどこでもできる立憲主義の授業憲法を知る・学ぶために誰もがが必要なこととして
	高	高校生が憲法改正模擬国民投票をやってみた
	中・高	憲法改正問題をどう教えるか授業内容の提示
	小	憲法について考えた—在日コリアンをきっかけに人権について考えた
		「ふつう」ってなに？—出会いと関わりの力で「ふつう」を拓ける
	小	「小さき人々」は、憲法に守られているか—7年目の“核被害”に向き合った6年生
	中	「同和問題学習」にどう向き合ってきたか—同和行政と現実のはざままで
		市民に開かれた放送局をめざして
	中・高	主権者を育むカリキュラム実践の試み
	高	選挙権の学び方—政党や政策を調べてみよう
	高	主権者になるために—税金の使い方から考えよう
第6分科会 思想・文化・文化活動	中	地域素材の劇化の取り組み—廃仏毀釈から特攻まで
		学校と民俗芸能
	小・中	道徳教育と二宮尊徳—金治郎像と報徳精神
		よりよい図書館づくりを目指して—よりよい図書館づくりを目指しての市民運動へ
		平和ミュージアムのガイド—来館者に話していること
		宮城におけるうたごえ運動の歴史と課題—どらごえサークルを中心に
		天皇陵など陵墓の全面公開を求めて—陵墓を「聖域」ではなく文化遺産に
		石清水八幡宮七不思議
		101年前、植民地朝鮮での「虎刈り」の実相—同志社蔵「山本征虎隊記録」の分析から
第7分科会 現代の課題と教育		「道徳教科書の内容と採択の問題点」
		国際平和ミュージアムでのガイドの立場から—児童・生徒をふくむ市民の歴史認識と今後の課題
		「平和のための信州・戦争展 in 佐久」に取り組んで
		『北海道』150年とアイヌ学習
		日系アメリカ人の謝罪と補償要求運動—戦時中の日系人強制収容についてのアメリカ政府に対する謝罪と補償要求運動の展開
		地元の歴史をいかした学習とまちづくりをすすめよう—『歴史たんけん塚』講座と市民活動
	高	地域づくりの取り組みを通して考えたこと—地域の再生とは何か
	高・中	世界遺産の教材化—世界遺産を使った持続可能な開発の授業

第9分科会 平和教育	中・高	戦争体験を聞く-過去の戦争と現代の戦争-高校生は戦争から何を学ぶか
	小	地域とつながって受け継ぐ戦争体験-5年生の表現活動
	中	夏休みに戦争と平和を考える課題を！-いま戦争体験者の証言を聴くこと
	高	平和教育の可能性を考える-「戦争と史跡」の実践から
	中・高	安倍九条改憲をどう考えたか-国家安全保障から人間の安全保障へ
		君は満州へ行くか④-地域の課題に目を向けた総合的学習における平和学習
		サハリン（権太）平和ツアー報告
	高	「性の多様性」から平和教育へ-5年生の表現活動
	中学校道徳教科書は何をめざすか	
第2テーマ 地域・子ども・授業		
小学校分科会合同		新しい教育課程の構図
第10分科会 幼年・小学校低学年	小	生活科の20年とこれから-科学的認識の基礎を培う歴教協の生活科
		地域で「親子自然教室」に取り組んで-自然の不思議にふれる楽しさを求めて
	小	小学校2年生の平和学習-新友情人形の学習を通して
		韓国の絵本を使った授業の可能性を探る-『ハンヒの市場めぐり』の授業から
	韓国の小学校生活科事情と得する楽しい遊びと工作編	
第11・12分科会 小学校3・4年	小	炭鉱の語り部原田巖さんとの出会いから炭鉱学習へ-炭鉱の学習から炭鉱カルタを作った子どもたち
	小	地域の特徴をいかした社会科の授業-2つのスーパー見学を通して
	小	お店調べスーパー・個人商店・コンビニ
	小	地域を教材化した授業づくり-スーパーマーケットとファーマーズマーケット
	小	4年「水はどこから」の実践-地域の水と味比べ・評価
	小	「淀川」の授業作りに取り組んで-子ども達とともに学び進める授業作り
		車道・車石から琵琶湖疏水へ-近世京都の物流路
	小	浦安の歴史をどう教えたか 2018
第13分科会 小学校5年	小	小五 札幌で行う 米づくりの授業 vol.2
	小	小五社会「わたしたちの国土」-スタートで社会嫌いの克服を
	小	地域の人に聞く昔の米作り、それを生かす社会科学習とは
	小	子どもと学んだせんべいの実践
	小	パンプキン、コンビナート、そしてフクシマ-四日市で原発を考える
	小	沖縄学習の中で、大学生との交流活動に取り組んで-大学生との交流学習での子どもたちの問題・課題意識の変容
	小	アイヌの授業をしてみよう-アイヌの授業入門 5年編
大小	便利な暮らしと環境とどちらが大切か-知識をつないで社会をみる	
第14分科会		古文書から見える江戸時代の村の暮らし

小学校6年	小	昆布ロードー沖縄を学習した子どもたちが学ぶ昆布ロード
	小	明治の国づくりと大日本帝国憲法の制定ー大日本帝国憲法と五日市憲法を比較して
	小	平和は教育の仕事ー伝え続けてきたこと
	小	歴史・憲法の授業と新学習指導要領
	大	小学校社会科の「飛び込み授業」による教育・研修効果について考えるー各地で実施している出前授業から6年・3年の実践を考察して
	小	教科書でわかって楽しく学ぼう（小6）ー現代の授業プリント
第15分科会 地域の中の子どもたち		夏休みこどものひろばのとりくみー7年間の歩みを振り返って
		「宿題サポートセンター」の取り組み
		「はまらない」子どもたちとの出会いを考えるー居場所づくりやSSWで出会った子どもたちから
		現代のスウェーデンの学童保育ー視察を通じて観えてきたこと
第16分科会 中学校地理	中	ふるさとの未来や私たちの生き方を問う地理学習ー「里山資本主義」の視点でとらえる「吉賀町のこれから」
	中	過疎地域で地域認識をどう育てるか
	中	中学校社会科におけるESDの実践と課題
	中	人口増減と東北ー人口の変化から東北、そして日本が見える？
	中	難民受け入れ問題を考える中学生ー「難民」をキーワードにした中学地理学習
	中	赤い背中と核兵器禁止条約から政党への手紙ー地球的課題と向き合う世界地理の学習
	中	子どもの貧困、誰がどう助けるか？ー公民・生存権の授業から地理学習とのつながりを探る
第17分科会 中学校歴史	中	平安の光と蔭ー平安時代の単元学習を実践するまで
	中	思考に対立と葛藤を生む授業を目指してー原爆はなぜ落とされたのか
	中・高	自由と平等の国、アメリカ？ー独立の経緯からアメリカの本質を考える
	中	歴史的思考力を育てる試みーアクティブ・ラーニングを取り入れて
	中	学び舎教科書で鎌倉仏教を考えるー民衆を熱狂させた一遍
	中	アクティブラーニングを意識した社会科指導ー様々な切り口から迫る社会科の楽しさ
	中	加害者が被害者になる戦争ー近藤さんの証言をもとに
	中	今こそ「情報リテラシー」を！ー真実を見抜く力を！
第18分科会 中学校公民	中	経済単元20時間で何ができているのだろうか？ー時間に追われたしくじり先生の授業報告
	中	生徒の「アウトプット」を取り入れた中学校社会科の授業ー基礎・基本の定着から、活用する力をはぐくむ
	中	中学3年生の「ともに生きる」学習ー生徒たちがつくりあげた「朝鮮学校との仲良し交流会」
	中・高	『三酔人経倫問答』を生徒はどのように読んだか？ーそこから見えるいまの若者の世界像
	中・高	南山城労働学校のとりくみ
	中・大	高校受験真つ只中の授業のなかで語ったこと
		育鵬社教科書で原発をどう扱うかー歴公民授業実践研究会のとりくみ
第19分科会	高	現代社会沖縄の基地問題

高校	高	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth—高校生のための国際交流・国際協力エキスポ
	高	地域コミュニティづくり<防災・減災>—高校生にできること<福祉・医療へ>
	高	歴史に、生徒とともに何を問うか?—国家と宗教を中心に
	高	現代における世界史学習の意義—戦後80年を目指した実践報告
	高	近現代「世界と日本」の実践
	高	土曜講座で「ゼミ」を開いてみた
	高	京都市立高校でのシティズンシップ教育—模擬選挙の実施を通じて考えたこと
	高	エネルギー問題について—これからの理想のエネルギーの組み合わせを考えよう
	高	和歌山県に原発がないのは、なぜだろう?—原発反対運動と原発推進の理由
	高	カーストはなくすことはできないのか?—「スクールカースト」から考える「絶望」を「希望」に転換するためにできること
	高	砂川事件から西多摩の基地問題に迫る—IKEA・ららぽーとは基地だった!?
	高	生徒とともに学ぶ現代史—「丸暗記」から「考える」学びへ
	高	敗戦から71年、明治維新から149年を「ムシの目」で振り返る—教科書には出てこない人々の歴史
第20分科会 大学	大	学び舎教科書をどのように活用するか—社会科教育法における指導案作成から
	大	「学び舎教科書」を使った考える問いづくり—歴史科教育法における実践から
	大	大学「教養地理学」の実践とレポート活用—私語をなくし参加させる講義への工夫
	大	大学で「沖縄の基地問題」を教えて—平和的民主的主権者を育てる教育を考える
	大	大学生と考える「公共」—公民科教育における「公共」概念と課題
	大	千葉大学寒川セトルメントの活動と学び—大学生の地域実践史と自己変革の活動から
	大	東日本大震災の記憶はどう忘れられ、どう残るのか
第21分科会 障がい児教育	特支中	被災地(福島)に思いを寄せて—合唱曲「群青」を通して学ぶ(特別支援学級で)
	学童	特別支援学校での「社会認識を育てる授業実践(その3)—「育てたい力」と「その方法」を整理する
	特支高	歴史を通じて生き方を考えさせる—できるだけ身近な問題として興味づけ、自分の生き方を考えさせる 試み
		地域でどう生きるか
	特支高	光明学校学童疎開記念碑建立の取り組み—学童疎開記念碑が信州上山田に建立されました!
第22分科会 父母市民の歴史学習		「東久留米の教科書を考える会」の活動—近現代史学習会、教科書採択、教育カフェ
	中	教師と市民でつくる社会科研究会
	高	資本論150年、資本論をかじる—資本論につながる今をさぐる日
		乙訓の文化遺産を守る会のあゆみ—歴史文化教室のとりくみ
		毎日が「目からウロコの歴史教科書カフェ」—学校で習った歴史は何だったの?
	中	歴史読本「守山から日本の歴史を見る」(増補改訂版)の刊行に向けて—新たな史実の掘りおこしを中心にして
		岐阜市平和資料室・友の会の活動—岐阜市と共にすすめた平和教育
		歴史認識をめぐる日韓市民交流の実践—日韓親善伊那谷の会(キムの会)の報告

		池田錬二さんの生涯—反戦・平和の志に学ぶ
第23分科会 社会科の学力と教育課程	小	子どもたちと学ぶ憲法
	大・小	上野かすみさんの「沖縄の授業」を検討する—米軍基地問題から考える基本的人権
	小	あるべき「主体的・対話的で深い学び」を求めて—(小4) 社会・道徳・総合の実践を例に
	大	社会科における学力と主体形成
第24分科会 授業方法	高	若い先生に贈る「社会科授業の工夫」—社会科の授業方法にこだわって
	中・高	甲子園はいつもそこにある～幻の甲子園～—当事者性と身近なものの教材化
	高	「働くとき」のために—高校3年生とワークルールを学ぶ
	高	ぼくらの学ぶ文化祭～きけ、わだつみの声～—大阪暁光高校の文化祭、生徒の学びとは
	高	知識の定着と「考える授業」の両立—生徒は明治維新をどう評価したか
	大	ほめない・しからない授業—学習者のリソースを信じること
	高	高根木戸遺跡のイヌはなぜ埋葬されたかのか
	高	現代地理Aでヨーロッパを学ぶ—今EUはどうなっているのか？
	高	学んだことを発信し、仲間とともに深め合う—歴史の単元の終わりごとの発表から見えてきたもの
	大	小林朗さんの中学校社会科授業—生徒を生かす
	小	A君と学ぶ日本国憲法—誰もが住みやすい平和な社会を
	大	教科化された道徳の授業に、社会科授業の味付けを—教科化道徳に面従腹背する人のレシビ
	特別分科会 日韓教育交流	高
高		言葉が刃になる歴史を繰り返さないために
中・高		草の根の人物から考える東アジアの近代
		「記憶の再生」と歴史と向き合う態度